

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)

【公表番号】特表 2006-509117(P2006-509117A)

【公表日】平成 18 年 3 月 16 日 (2006.3.16)

【年通号数】公開・登録公報 2006-011

【出願番号】特願 2004-559108(P2004-559108)

【国際特許分類】

D 0 6 H 5/00 (2006.01)

D 2 1 F 7/10 (2006.01)

【F I】

D 0 6 H 5/00

D 2 1 F 7/10

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 7 日 (2006.9.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基礎繊維の複数層から形成され、前記の基礎繊維の層のそれぞれの第 1 端部が該基礎繊維の層のそれぞれの対応する第 2 端部に結合されている継目を有する抄紙用又はその他の工業用繊維であって、

予め形成される少なくとも 1 つの取付機構が、前記基礎繊維の前記複数層のそれぞれの前記端部のそれぞれに結合され、

前記複数層の第 1 の前記第 1 端部に結合された前記の予め形成される取付機構の機械方向への 1 つの長さが、前記複数層の前記第 1 の前記第 1 端部に対応する前記の複数層の第 2 の前記第 1 端部に結合された前記の予め形成される取付機構の他の長さと異なり、

前記複数層の前記第 1 の前記第 1 端部に結合された前記の予め形成される取付機構の前記機械方向への 1 つの前記長さが、前記複数層の前記第 1 の前記第 2 端部に結合された前記の予め形成される取付機構の他の長さと異なることを特徴とする抄紙用又はその他の工業用繊維。

【請求項 2】

前記の予め形成される取付機構が、螺旋を有することを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙用又はその他の工業用繊維。

【請求項 3】

前記の予め形成される取付機構が、多数の取付リングを有することを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙用又はその他の工業用繊維。

【請求項 4】

二つの予め形成される取付機構が、前記基礎繊維の前記複数層のそれぞれの前記第一端部及び第二端部を結合させるのに使用されることを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙用又はその他の工業用繊維。

【請求項 5】

前記の基礎繊維の複数層のそれぞれの前記第 1 端部及び前記第 2 端部を結合するように、前記の基礎繊維の複数層のそれぞれの対応する端部に結合された前記の予め形成される取付機構のそれぞれに配置されたピンをさらに有することを特徴とする請求項 4 に記載の

抄紙用又はその他の工業用繊維。

【請求項 6】

前記基礎繊維の隣り合う少なくとも 2 つの層に対応する前記ピンが、互いに分枝していることを特徴とする請求項 5 に記載の抄紙用又はその他の工業用繊維。

【請求項 7】

前記の基礎繊維の複数層の第 1 の前記端部のそれぞれに結合された前記の予め形成される取付機構の前記機械方向への全長が、前記の基礎繊維の複数層の前記第 1 の隣り合う前記の基礎繊維の複数層の他の前記端部のそれぞれに結合された前記の予め形成される取付機構の前記機械方向での全長と実質的に等しいことを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙用又はその他の工業用繊維。

【請求項 8】

打ち綿繊維が、基礎繊維の 1 つ又は両面に適用されていることを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙用又はその他の工業用繊維。

【請求項 9】

基礎繊維の複数層から形成され継目を有する抄紙用又はその他の工業用繊維の形成方法であって、前記の基礎繊維の層のそれぞれの第 1 端部が、前記の基礎繊維の層のそれぞれの対応する第 2 端部に結合されており、当該方法は：

前記の基礎繊維の複数層のそれぞれの前記端部のそれぞれに、少なくとも 1 つの予め形成される取付機構を結合させるステップ；並びに

前記の基礎繊維の複数層のそれぞれの前記第 1 端部及び前記第 2 端部を結合させるように、前記の基礎繊維の複数層のそれぞれの対応する端部に結合された前記の予め形成される螺旋のそれぞれに配置されたピンを配置させるステップ；

を有し、ここで、

前記複数層の第 1 の前記第 1 端部に結合された前記の予め形成される取付機構の機械方向への 1 つの長さが、前記複数層の前記第 1 の前記第 1 端部に対応する前記の複数層の第 2 の前記第 1 端部に結合された前記の予め形成される取付機構の他の長さと異なり、

前記複数層の前記第 1 の前記第 1 端部に結合された前記の予め形成される取付機構の前記機械方向への 1 つの前記長さが、前記複数層の前記第 1 の前記第 2 端部に結合された前記の予め形成される取付機構の他の長さと異なることを特徴とする方法。

【請求項 10】

前記の予め形成される取付機構が、螺旋を有することを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記の予め形成される取付機構が、多数の取付リングを有することを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

二つの予め形成される取付機構が、前記基礎繊維の前記複数層のそれぞれの前記第一端部及び第二端部を結合させるのに使用されることを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 13】

前記基礎繊維の隣り合う少なくとも 2 つの層に対応する前記ピンが、互いに分枝していることを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 14】

前記の基礎繊維の複数層の第 1 の前記端部のそれぞれに結合された前記の予め形成される取付機構の前記機械方向への全長が、前記の基礎繊維の複数層の第 1 の隣り合う前記の基礎繊維の複数層の他の前記端部のそれぞれに結合された前記の予め形成される取付機構の前記機械方向での全長と実質的に等しいことを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 15】

前記の予め形成される螺旋を前記第 1 端部又は前記第 2 端部の少なくとも一方に固定するのを補助するように、ジグザグパターンに編まれた少なくとも一つのスレッドをさらに有することを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 16】

前記の予め形成される螺旋を前記第 1 端部又は前記第 2 端部の少なくとも一方に固定するのを補助するように、改変されたジグザグパターンに編まれた少なくとも一つのスレッドをさらに有することを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 17】

前記の予め形成される螺旋を前記第 1 端部又は前記第 2 端部の少なくとも一方に固定するのを補助するように、改変されたジグザグパターンに編まれた少なくとも一つのヤーンをさらに有することを特徴とする請求項 9 に記載の方法。

【請求項 18】

継目を有する基礎繊維の複数層であって、ここで、該基礎繊維の前記層のそれぞれの第 1 端部が、前記基礎繊維の前記層のそれぞれの対応する第 2 端部に結合されている継目を有する、基礎繊維の複数層；

前記基礎繊維の前記の複数層のそれぞれの前記端部のそれぞれに結合された予め形成される取付機構；並びに

前記基礎繊維の前記の複数層のそれぞれの前記第 1 端部及び前記第 2 端部を結合するように、前記基礎繊維の前記の複数層のそれぞれの対応する端部に結合された前記の予め形成される螺旋のそれぞれに配置されたピン；

を有する抄紙用又はその他の工業用繊維であって、ここで、

前記複数層の第 1 の前記第 1 端部に結合された前記の予め形成される取付機構の機械方向への 1 つの長さが、前記複数層の前記第 1 の前記第 1 端部に対応する前記の複数層の第 2 の前記第 1 端部に結合された前記の予め形成される取付機構の他の長さと異なり、

前記複数層の前記第 1 の前記第 1 端部に結合された前記の予め形成される取付機構の前記機械方向への 1 つの前記長さが、前記複数層の前記第 1 の前記第 2 端部に結合された前記の予め形成される取付機構の他の長さと異なることを特徴とする抄紙用又はその他の工業用繊維。

【請求項 19】

前記の予め形成される取付機構が、螺旋を有することを特徴とする請求項 18 に記載の抄紙用又はその他の工業用繊維。

【請求項 20】

前記の予め形成される取付機構が、多数の取付リングを有することを特徴とする請求項 18 に記載の抄紙用又はその他の工業用繊維。

【請求項 21】

前記基礎繊維の隣り合う少なくとも 2 つの層に対応する前記ピンが、互いに分枝していることを特徴とする請求項 18 に記載の抄紙用又はその他の工業用繊維。

【請求項 22】

前記基礎繊維の隣り合う前記 2 つの層の少なくとも 1 つが、螺旋に形成されていることを特徴とする請求項 18 に記載の抄紙用又はその他の工業用繊維。

【請求項 23】

前記基礎繊維の隣り合う前記 2 つの層の少なくとも 1 つが、螺旋に形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙用又はその他の工業用繊維。

【請求項 24】

前記繊維は、継目の領域に付加的な流れ抵抗材料を含むことを特徴とする請求項 18 に記載の抄紙用又はその他の工業用繊維。

【請求項 25】

前記繊維は、継目の領域に付加的な流れ抵抗材料を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙用又はその他の工業用繊維。

【請求項 26】

打ち綿繊維は、基礎繊維の片面又は両面に適用されることを特徴とする請求項 18 に記載の抄紙用又はその他の工業用繊維。